

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒個々の「生きる力」「進路を切り開く力」の伸長を図る地域と密接に連携した教育活動により、地域社会に貢献できる能力と豊かな人間性を持つ人材を育成し、地域に信頼される高校をめざす。

- 1 生徒が積極的に参加・活動する「わかる授業」を推進し、「スモールステップで学びを支援」し、「確かな学力」を育成する。
- 2 キャリア教育の充実に努めると共に、自立支援コース並びに専門コース等において特色ある教育活動を展開し、主体的に進路実現できる生徒を育成する。
- 3 教育活動全体を通じて、規範意識、人権意識の向上を図るとともに、地域との交流・連携を深め、安全・安心な学校としての信頼感を高めていく。

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成と授業改善
 - (1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。
 - ア アクティブ・ラーニングを取り入れ、生徒の授業参加と活動量を積極的に増加させ、学びを深める。
 - イ 教員相互の授業見学、他校や中学校の授業見学、授業アンケートを効果的に活用し、授業改善に取り組む。
 - ウ 国際交流事業、英語検定・GTEC等を活用し、国際理解教育を推進する。
 - エ 「阿武野プロジェクト(あぶプロ)～学力充実プロジェクト委員会」を中心として、組織的な授業改善を行い、生徒の学力の充実に努める。さらに新学習指導要領をふまえたカリキュラムマネジメントに取り組む。
 ※ 授業アンケートにおける興味関心、知識技能に係る生徒の満足度(H30:79%、R1:80%、R2:88%)を上昇させ、令和5年度には90%以上にする。
 ※ 教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合(R1:11%、R2:30%)を令和5年度には40%に上昇させる。
 ※ ICTを活用した授業(H30:4500時間、R1:6653時間、R2:6691時間)を増加させ、令和5年度も5000時間以上を維持する。
 - (2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。
 - ア 学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を徹底し、授業に集中できる環境を整える。
- 2 進路意識の高揚とコース制の充実
 - (1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実に努め、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。
 - ア 総合的な探究の時間(ライフ・プランニング=LP)、LHR(ロングホームルーム)において、系統的・継続的なキャリア教育の充実に努める。
 ※ 進路決定率(H30:93%、R1:94%、R2:96%)を上昇させる。
 ※ 学校紹介就職内定率は100%(H30:100%、R1:100%、R2:100%)を維持する。
 - (2) 「自立支援コース」「スポーツ専門コース」「福祉・保育専門コース」をはじめ、すべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。
 - ア コース毎に、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育内容の充実に努め、進路実現に導く。
 - イ コースの特色に応じて多様な教育活動を展開し、地域との交流・連携を深める。
- 3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成
 - (1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。
 - ア 規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図るため、登校時の校門指導を強化し、一貫した生徒指導を行う。
 - イ LP、LHRにおいて、アサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。
 - ウ インクルーシブ教育の理念に基づいた「ともに学び、ともに育つ」教育、並びに地域の学校、諸団体との交流・連携を推進し、社会貢献を体験することで、生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。
 - エ 防災教育、交通安全教育を計画的に継続して行う。
 ※ 遅刻について、前年度比5%の減少を図る。
 - (2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成するとともに、自らを律し他人を思いやる心を育てる。その際には、生徒を「褒めて育てる」「スモールステップで育てる」を意識する。
 - ア 学校行事、生徒会活動の活性化を図る。
 - イ 部活動の活性化を図る。
 - ウ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に努める。
 ※ 部活動加入率(H30:51%、R1:50%、R2:50%)を上昇させ、令和5年度には55%以上にする。
- 4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上
 - (1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化する。
 - ア 中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施し、地域の信頼感を高める。
 - イ 学校教育活動全般について、適切な情報発信に努め、保護者、地域との信頼関係を高める。
 - (2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【確かな学力の育成と授業改善】 《生徒回答項目》(項目/肯定的回答/昨年度比、以下同じ) * 授業への積極的参加/84.3%/+6.7p * 興味関心をもって学習でき授業に満足している/76.5%/+8.1p * 学習内容を理解することができている/80.5%/+9.3p * 家庭での予習復習/25.6%/+3.9p * 私語が少なくしっかり授業を聞く雰囲気/74.5%/+13.2p * 清掃をおこない授業を気持ちよく受けられる環境整備/79.7%/+7.4p * 授業開始時に必要なものを準備、課題の提出/86.4%/+5.2p 《教員回答項目》 * 学習指導や評価についての話し合い/94.7%/+2.6p * 教材の精選と工夫/94.7%/+2.8p * 参加体験型やグループ学習など学習形態の工夫/86.8%/+7.8p * ICT機器の活用/97.4%/+0.1p * 授業規律の確立/78.9%/+3.3p 《保護者回答項目》 * 子どもは授業が分かりやすいと言っている/68.5%/+4.1p ・ 生徒の「授業満足度」は76.5%(+8.1p)、「理解度」は80.5%(+9.3p)、「授業規律」は74.5%(+13.2p)とそれぞれ上昇し、過去最高のポイントになった。来年度以降も教員研修や研究授業の充実に努め、授業において生徒の達成感や理解度が実感として感じられるような工夫を行いたい。また、カリキュラムマネジメントを令和元年度かより計画的に行っている。令和4年度の新学習指導要領の実施及び観点別評価の実施に向けて、本校生徒にとって魅力ある授業作りに努めていきたい。</p>	<p>【第1回 6月30日(水)】 ※今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言中であったために、書面開催(学校側の説明文を協議会委員の皆様へ送付し、ご意見を頂戴した)としました。書面の送付は令和3年6月9日(水)、ご意見は6月30日(水)までにいただきました。 ・ 来年度から始まる「観点別評価」、ペーパーテストだけでなく、いろいろな角度から一人ひとりを見るというのは、とても大切なことだと思います。緊急事態宣言直前のUSJへの遠足、実行していただき、ありがとうございます。なんとか行けるように～と親子で願っておりました。すごく楽しかったようで、たくさんの写真を見せてくれました。そして、体育大会を延期していただいたことに感謝申し上げます。去年も体育大会が出来ずに、修学旅行も中止になり、このまま、また中止というのは避けていただきたいという思いでした。応援パフォーマンスの発表はみんなの願いだったでしょうし、学校全体での行事というのは、この時期とても有意義なことだったと思います。 ・ コロナウイルス感染症拡大防止対策で、教育活動や学校行事等の開催にも大変苦慮を頂いておりますが、特に生徒たちの学校生活の思い出として残る学校行事は実施できたら良いなと思います。 ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、学校教育においても様々な制約がある中、工夫しながら教育活動を進めておられることと思います。同封の資料や写真、HPなどからも取組の様子が伺えます。さて、いただいた資料の中で、昨年度「阿武野高校のめざす生徒像」をまとめ上げたということで、とてもいいことだと思います。今の生徒たちの実態とめざすべき姿が明確になったのではないのでしょうか。「阿武野プロジェクト」の取組みや学校全体の取組みがそこにつながるよう期待しています。</p>

府立阿武野高等学校

【進路意識の高揚とコース制の充実】

《生徒回答項目》

- * 進路学習の機会がある／93.2％／＋1.5p
- * 地域や外部講師から学ぶ機会／90.1％／＋8.7p
- * 専門コース授業の満足度（スポーツ）／86.4％／＋3.7p
- * 専門コース授業の満足度（福祉保育）／86.4％／＋3.6p

《教員回答項目》

- * 系統的なキャリア教育がなされている／94.7％／－2.6p
- * 進路選択についてのきめ細やかな指導／94.7％／＋2.8p
- * 地域連携の機会／81.6％／＋5.9p

《保護者回答項目》

- * 進路学習についての丁寧な指導／81.0％／＋1.0p

・今年度も全ての回答でキャリア教育の項目が大きく上昇した。昨年度に引き続き、キャリアパスポートの取組みや進路学習の機会が増えた事、3年生の総合的な探究の時間でキャリア教育を工夫し実践した事などが上昇の要因と思われる。

・地域連携の機会は、今年度も新型コロナウイルス対応の関係で激減。地域に向けない中で、出来る範囲で外部講師を呼んで感染拡大防止に努めながら取組みを実施した事がこの項目の上昇に繋がったと思われる。

【安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成】

《生徒回答項目》

- * 学校へ行くのが楽しい／77.5％／＋3.6p
- * 保健室や相談室で相談することができる／73.1％／＋11.8p
- * 人権の大切さを学ぶ機会／93.4％／＋4.1p
- * 障がい理解が深まる／94.0％／＋6.5p
- * いじめへの対応／81.0％／＋6.5p
- * 生徒指導への納得／62.8％／＋12.7p
- * 防災や交通安全指導の機会／90.9％／＋6.6p
- * 学校行事満足度／83.6％／＋3.7p
- * 委員会活動やクラス活動に積極的に参加／62.1％／＋4.3p

《教員回答項目》

- * カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導／92.1％／＋2.9p
- * 教育相談の体制／86.8％／－2.3p
- * 人権研修の機会／86.8％／－5.0p
- * 人権学習の取組み／94.7％／－2.6p
- * いじめへの対応と体制／100％／0p
- * 生徒指導体制／94.6％／＋7.8p
- * 学校行事の工夫・改善／89.5％／＋0.3p
- * 体育大会や文化祭のルールや役割分担／81.6％／＋9.4p

《保護者回答項目》

- * 子どもは学校に行くのを楽しみにしている／79.3％／＋1.0p
- * 子どもは自分のクラスが楽しいと感じている／79.1％／＋5.4p
- * 子どものことをよく理解してくれている／74.9％／＋4.8p
- * 保護者の相談への対応／86.2％／＋0.1p
- * 人権を尊重する教育への取組み／90.6％／＋1.1p
- * いじめへの対応／78.9％／＋3.1p
- * 生徒指導方針に共感する／74.0％／－1.2p
- * 子どもの文化祭や体育大会でのいきいきとした活動／81.2％／－0.2p

・生徒の回答ではすべてのポイントが上昇。特に「教育相談」は前年比＋11.8pと大きく上昇した。本校では令和元年度からスクールカウンセラーに加えスクールソーシャルワーカーも独自に配置し、更に保健室や相談室だけでなく担任や学年の教員も生徒の相談を受ける体制を整えているのが背景にある。

・「生活習慣の指導」が86.3%、「先生の指導への納得度」が86.2%と昨年度に比べて大きく上昇。引き続き、各ルールの意義を生徒に理解させて丁寧な指導に努めていく。

【地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上】

《教員回答項目》

- * 必要な情報を生徒・保護者・地域へ周知／94.7％／－2.6p
- * 経験の少ない教員へのフォロー体制／92.1％／＋11.0p
- * 教育活動について日常的に話し合っている／94.7％／－2.6p
- * 教員間の相互理解や信頼関係／94.7％／＋8.3p

《保護者回答項目》

- * 学校からの情報提供・意思疎通／89.2％／－0.5p

・保護者との意思疎通等は、新型コロナウイルス対応もあって、昨年度と同様に高い肯定的評価を得てはいるが、より一層の工夫が必要である。教職員の組織的取組みは初任者への支援体制が組織化出来た事は大きい。

・まず、コロナ禍のなか、体育大会の演技披露の写真が目につきました。全員がとても嬉しそうないい表情で写っていますね。1年生は羨ましかったですよね。全校の生徒の絆が深まったことでしょうか。学年の様子も読みました。各学年、工夫しながら、全体で行事をこなせたことが、まとまりに繋がっているようですね。今年度の取組みの修正箇所も了解しました。阿武野高校のめざす生徒像について、先生方が真剣に討論・議論や研究授業をしている様子が伝わってきました。まだまだ、コロナ禍が続きそうですが、今までもどのような状況でも、生徒さんのために創意工夫して乗り切ってきた阿武野高校です。今回も校長先生を先頭に教職員、保護者、地域の方々と一丸となって更に躍進してください。

・自分の子どもも今年の4月より高校生になりました。昨年からのコロナ禍で受験も不安でしたが、入学しても尚、続くことになるとは思っていませんでした。楽しみだったクラブ活動や行事も縮小し、不満もあるようです。ただ、コロナのせいにして学校のせいとは思っていないようで、それはどこもコロナに対して何とか工夫して出来る限りのことをやろうとする姿が伝わっているのだと思います。子どもも親も大変な時期ですが、一人ひとり見てると伝わっているようで安心します。緑映会として何か出来ることがあれば、言ってください。

【第2回 11月26日（金）】

- ・クロームブックは中学校でも導入していて、Jamboard を使っている教員もいるが、阿武野高校の方が進んでいるような気がします。
- ・クラブ活動について。コロナであまり活動できなくて大変だと思いますが、これからももっともっと頑張ってもらいたいです。
- ・文化祭の動画配信がありがたく、録画させてもらいました。
- ・クロームブックを活用している授業もあって、地理の授業で、吹田の地形などを調べるという学習があり、知らない土地のことを調べたりするのはいいことだなあと思っていました。しかし最後の提出方法が印刷して提出というもので、うちは家にプリンターがあるけど、家にはない子はコンビニに走ったということを知りました。せっかくクロームブックを使っているのに、最後のところまでペーパーレスでやってほしかったなと思いました。修学旅行は1泊だったので行く前は色々（文句を）言っていたが、楽しんできたらしく、帰宅してからはとても喜んでいました。
- ・体育大会の応援パフォーマンスの画像などを見せてもらい、生徒の良い表情が見られてとてもよかったです。やはり対面での取り組みは大切だと感じました。阿武野高校では、進んだ取り組みばかりですばらしいです。これからも頑張っていって下さい。

【第3回 2月10日（木）】

※第3回は当初、集合形式で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大が急激な為に、書面開催（学校側の説明文を協議会委員の皆様へ送付し、ご意見を頂戴した）としました。書面の送付は令和4年1月31日（月）、ご意見は2月10日（木）までにいただきました。令和4年度学校経営計画については全員に承認していただきました。以下はご意見です。

- ・陽性者が続いている中、行事の変更に対応いただき、ありがとうございます。学年レクが出来て本当に良かったです。いつ終息するか分からない状況ですが、来年はひとつでも多くの行事が縮小することなく出来ることを願っています。進路においても色々とお助言いただき、大変ありがたかったです。
- ・コロナ対応も含め、大変な状況の中での書面開催、ありがとうございます。（学校経営計画について）家庭学習についてですが、学校からの取組みでは改善は難しいかと思います。ただ、他の点が高いことは、学校への満足度が高いと言えます。生徒と保護者のニーズは多少違いますので、あまり大きく捉えなくても良いのかなと思います。部活の加入率も高くなり、以前よりも魅力ある学校になっているように感じます。先生の教え方にも変化があり、それに生徒が応えていることが嬉しく思います。
- ・新型コロナウイルスの更なる感染拡大で、対応には大変ご苦労いただいております。その様な中、授業評価アンケート及び学校教育自己診断結果に於いて、多くの項目で評価が上がっているのは教職員の皆様の生徒達を思う気持ちの表れだと思います。今後もコロナ禍で大変な時ですが、生徒達の為に色々工夫をいただき、教育活動を進めていただけたらと思います。
- ・今年度も新型コロナウイルスの影響で、学校運営に様々な制限や制約のある中で、修学旅行やオープンスクールなどを無事に実施できたことは、とても良かったと思います。また、授業アンケートや学校教育自己診断の生徒たちの肯定的評価が上昇していることも成果としてとらえることができると思います。一方、紙面でも述べられているように、「私は家庭で予習復習をしている」の項目で肯定的な回答が25.6%となっており、家庭学習については課題であると思います。質問の内容が適切なのかもありますが、中学校でも同様の課題を抱え、取り組んでいるところですが、まさに「学ぶ意欲、学びに向かう力」の育成です。そこで、来年度の学校経営計画の「2 中期的目標」の「1 確かな学力の育成と授業改善」のところで、「(1) 生徒の参加・活動量の多い『わかる授業』をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。」のAからEに加えて、「自ら学ぶ生徒を育てる」ための目標や取組みを何か加えることが出来ないでしょうか。本校では「予習復習」ではないのですが、夏季や冬季の長期休み中に「セルフナビシート」と名をつけて、自分で目標や計画を立て、実行して、点検するというPDCAを意識した計画表を使って、生徒にPDCAによる目標達成能力の育成を図ろうとしています。生徒の意欲により出来栄は様々ですが、自ら学ぶ力、自ら課題を解決する力、目標を達成する能力の育成に繋がるものとして、始めています。このシートもまだまだ改善の余地があり、生徒たちの意見を取り入れながら改善していきたいと思っていま

府立阿武野高等学校

す。

・「はじめに～3学期の様子について」…大変なコロナ禍の中、校長先生をはじめ教職員の方々が生徒・学校の為、創意工夫しながら悪戦苦闘の日々お疲れ様です。その中でもオープンスクール実施出来て良かったですね。

「各学年の様子：3年生」…最終学年の充実した日常生活を送らすため、特別ルール作りを作成した事が（頭が下がります）、いい方向に向かったようですね。レクはどうでしたか。「2年生」…学年通信『みつばち』を拝見しました。一生に一度の修学旅行が実施でき、生徒の笑顔の様子を見て、大成功だったと思います。きめ細かい指導に頭が下がります。「1年生」…多彩な学習、行事の様子を知れました。生徒も先生方が生徒の為に頑張っている事が伝わっていると思いました。

「第2回授業アンケート結果及び学校教育自己診断結果について」…この数字を見て、生徒の学校に対する信頼感が高まっている様子が理解出来ました。保護者の回答は、どこの学校で少ないし、厳しい意見が多いですねしかし、理解を少しでも増やす為にアクションを起こす必要がありますね。

「令和3年度学校経営計画及び学校評価について」…教職員の生徒に対する熱い思いが生徒の頑張りに影響を与えていると思います。ICTの活用が当たり前になってきていること、素晴らしい事ですね。家庭学習の件は難しいですね。今の学校の取組みを更に深め、勉強に関する興味関心を高めていく事が、最終的に家庭学習時間が増えると思います。全般的にはコース制の充実ぶりが伺えます。部活動の活動率の増加は嬉しいですね。部活動で人間関係を中心に人間性が養われます。遅刻は多くの学校でも共通の課題です。全教職員が一丸となり粘り強く指導を続ける以外に方法は無いかもしれません。新任の先生をフォローする体制、先生方が自主的に勉強会を立ち上げた、素晴らしい実践です。これは学校全体の教職員が一丸となり、阿武野高校を活性化するという雰囲気が醸し出されている証拠ですね。新任が最初に勤務した学校がこれから先の教員生活に影響すると思います。この新任の先生は幸せで宝物を得たと思います。この受けた恩を先輩方に『恩返し』するのではなく、これから出会う後輩の先生に必ず『恩送り』をしていく事だと思えます。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 (R2年度値)	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。</p> <p>(2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・アクティブ・ラーニング (AL)、ICT を活用した授業づくりを推進し、生徒の主体的・協働的な授業参加と活動量の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業の目標、ポイントを明示するとともに、授業の振り返りを行う。 課題・宿題による家庭学習の習慣づけ、確認を行い、授業進行に活用する。 <p>イ・教員相互の授業見学の活性化と共に、授業アンケート結果を活用し、授業改善を図る。</p> <p>ウ・可能な範囲での国際交流事業や英検受検 GTEC を通じて英語力と国際感覚を養う。特に昨年度から導入したスタディサプリを活用し、家庭学習の習慣化と英語力の向上に取り組む。</p> <p>エ・あぶプロの活動を通し、教材開発、研究授業、研究協議、ICT 活用及び AL 推進のための校内研修を実施すると共に、新学習指導要領に基づくカリキュラムを完成させ、観点別評価の取り組みを進める。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学習環境整備、授業準備、授業規律について、各学年団での指導を一貫して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当分掌を中心に全教職員で校内美化を推進。 	<p>(1) ア イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度を前年度 (88%) より向上させる。 教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合を前年度 (30%) より向上させる。 ICT を使用した授業 5000 時間以上を維持。[6691 時間] <p>ウ・可能な範囲で国際交流事業の活性化。</p> <p>エ・新カリキュラムの完成と観点別評価に取り組む。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断 (生徒) における「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価を前年度 (72%) より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価を前年度 (61%) より向上させる。 	<p>(1) ア イ ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度は 87%。(△) 教育産業における学力生活実態調査において、学習習慣上昇者の割合は 28%。(△) ICT を使用した授業時間は 7779 時間。(◎) 国際交流事業については新型コロナウイルス対応の為に全て中止となった。Web 交流も相手校の休校期間が長く、ビデオメッセージのやり取りを実施した。(○) 新カリキュラムは完成。それに伴う観点別評価の試行を実施。(◎) <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価は 80%。(◎) 「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価は 75%。(◎) <p><u>コロナ禍で大変な中、国際交流は一切出来なかったが、それ以外の項目では概ね目標を達成できた。引き続き、丁寧に取り組んでいきたい。</u></p>
2 進路意識の高揚とコース制の充実	<p>(1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実を図り、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。</p> <p>(2) 各コースをはじめすべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・3年間で、LP、LHR における系統的・継続的なキャリア教育が充実するよう、進路指導部・学年・人権教育担当分掌が協議し、より良いキャリア教育を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路指導部・教務部・学年団が協力して、補習・講習を実施し、進路実現に導く。 1年次は自尊感情の育成とともに、LP「素敵な大人インタビュー」等を通して将来の職業生活についての意識を高める。全員の3者面談を実施し、進路決定や職業を意識したコース選択、科目選択を徹底する。 2年次は進路体験学習等のキャリア教育、個人面談により、適切な科目選択、卒業後の進路目標の確定に導く。 3年次は進路別対策講座を実施するとともに、担任・進路によるきめ細かな進路相談を行い、進路指導部アンケートの「進路満足度」の肯定的評価の割合 100%をめざす。 <p>(2)</p> <p>ア・専門コースや選択科目が生徒の進路に結びつくよう、教育内容の充実を図る。</p> <p>イ・地域諸団体との交流・連携を推進し、進路意識の高揚を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・同「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度 (92%) より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生の進路目標確定 95%以上。 卒業時進路決定率を前年度 (96%) より向上させる。 学校紹介就職内定率 100%。 進路指導部アンケートの「進路満足度」の肯定的評価の割合 100%をめざす。 <p>(2)</p> <p>ア・同「専門コースの授業に満足」の肯定的評価を前年度 (83%) より向上させる。</p> <p>イ・同「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度 (81%) より向上させる。</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価は 93%。(◎) 2年生の進路目標確定は 100%。(◎) 卒業時進路決定率は 97%。(○) 学校紹介就職内定率は 100%。(○) 進路指導部アンケートの「進路満足度」の肯定的評価は 91%。(△) <p>(2) ア イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「専門コースの授業に満足」の肯定的評価は 86%。(◎) 「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価は 90%。(◎) <p><u>引き続き、キャリア教育への肯定的評価は高く、今年は現時点でそれが少しずつ進路実現に結びついている手ごたえがある。</u></p>

府立阿武野高等学校

<p>3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成</p>	<p>(1)すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。</p> <p>(2)生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成すると共に、自らを律し他人を思いやる心を育てる。</p>	<p>(1) ア・全教職員が協力して登校時校門指導を行い、遅刻、頭髪、制服の指導を強化するとともに、挨拶ができる生徒を育てる。 ・生徒一人ひとりが「阿武野高生の代表」とであるという自覚を持ち、責任ある行動、言葉遣いができるよう一貫した生徒指導を行う。 ・カウンセリングマインドを持った生徒指導を推進する。 イ・1年次に地域交流による「障がい理解学習」を行う等、LP、LHRでアサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。 ウ・2年次に社会貢献活動「あぶねっと」を行う等地域交流を推進し、学校教育全般を通じて生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。 エ・防災教育を計画的に行う。 ・自転車運転ルールの順守、マナーの向上について、交通安全テスト等を活用し、定期的な注意喚起を行う。</p> <p>(2) ア・学校行事、生徒会活動の活性化を図る。 イ・部活動の活性化を図る。 ウ・各学年、相談室委員会、配慮特別委員会が情報を共有し、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を維持する。</p>	<p>(1) ア・年間延べ遅刻数 3000 人以下。(前年度 3048 人) ・同(教職員)「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価を前年度(89%)より向上させる。</p> <p>イウ ・同(生徒)「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(89%)より向上させる。 ・同「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価を前年度(74%)より向上させる。</p> <p>エ・防災教育、交通安全教育の各学期実施。交通安全テストの全員合格。</p> <p>(2) ア・同「学校行事満足度」の肯定的評価を前年度(80%)より向上させる。 イ・部活動加入率を前年度(50%)より向上させる。 ・生徒会や部活動による地域交流を一昨年度(18回)より増やす。 ウ・「個別の教育支援計画」の作成と適切な支援。</p>	<p>(1)ア イ ウ ・年間延べ遅刻数は 3095 人。(△) ・「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価は 92%。(◎) ・「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価は 93%。(◎) ・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は 78%。(◎) ・1 学期には火災を想定した避難訓練、2 学期は大阪 880 万人訓練、3 学期は防災 HR を実施した。交通安全テストは全生徒が合格点を取った。(○)</p> <p>(2)ア イ ウ ・「学校行事満足度」の肯定的評価は 83%。(◎) ・部活動加入率は 56%。(◎) ・生徒会は高槻島本地区のオンライン交流を実施。部活動による地域交流は、感染が収まっている時期に 24 回実施。(◎) ・「個別の教育支援計画」は必要な生徒に全て作成。定例の教育相談委員会で情報を共有し、適切な支援に繋がった。(○)</p> <p>概ね目標は達成出来ている。部活動加入率も今年は向上させる事が出来た。今後も中学生への勧誘段階から引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化させる学校力の向上</p>	<p>(1)広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。</p> <p>(2)組織的、継続的に学校力の向上を図る。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施する。 イ・学校紹介スライド、3年間の学び・みえるプラン、広報誌(ABULIFE)を作成すると共に、校内のデジタルサイネージを推進し、教育活動の効果的な情報発信に努める。 ・文書、保護者メール、ホームページ等を使って保護者との連絡をより密接に行い、学校との信頼関係を向上させる。</p> <p>(2) ・日常的な OJT の推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。 ・府教育センターや各研究団体等の研修を活用し、伝達研修の充実を図る。 ・地域の府立学校とも連携し、多様な課題に対応するための職員研修を計画的に実施する。 ・OJT の充実や ICT の導入によって業務の効率化を進め、ストレスチェック制度の有効活用も行き、教職員の負担感軽減を図る。</p>	<p>(1) ア・学校説明会等の計画的、組織的実施 6 回以上。 イ・HP をより見やすく改善する。 ・同(保護者)「教育情報提供満足度」の肯定的評価を前年度(78%)より向上させる。</p> <p>(2) ・伝達研修を含む職員研修の実施 12 回以上。 ・同(教職員)「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価を前年度(81%)より向上させる。 ・ストレスチェック結果の総合健康リスクが事業場全体より下位。</p>	<p>(1)ア イ ・地域の合同説明会は中止。学校単独の説明会は全 4 回実施。部活動体験会は 8 月の単独開催を中止にしたが、11 月の学校説明会の中で実施。(○) ・HP は昨年度に緊急連絡を見やすくするなどした。(○) ・「教育情報提供満足度」の肯定的評価は 81%。(◎)</p> <p>(2) ・今年度もコロナ対応の為に外部講師を呼んでの人権研修中止が一度あり、教職員のセンターでの研修も殆どが Web 研修に変更。それでも、新カリに向けての研修や職員会議時の伝達研修を計 10 回行った。(○) ・「経験年数の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価は 92%。今年度より教員による自主的勉強会の体制が整った事が大きい。(◎) ・ストレスチェック結果の総合健康リスクは昨年度と同様に事業場全体より下位だった。(○)</p> <p>今年度も緊急連絡を行う事が多く、それが逆に保護者への情報提供を進める結果となった。中学生の生徒や保護者に対面で訴える効果的な機会は何とか確保できたので、次年度以降も工夫しながら取り組んでいきたい。</p>